

一般教育訓練明示書（東京電機大学 実践知プログラム）

2019年4月10日作成

講座の名称	実践知プログラム													
実施方法	① 通学（平日夜間・土曜）						② 通信 スクーリング（回数 回）							
指定講座番号	6	3	4	5	6	—	1	9	1	0	0	1	—	0
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 2018年4月1日					過去一年の講座実績		入講者数（累積） 3名（3名）			修了者数 1名			
訓練期間	12ヶ月						総訓練時間			135時間				
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル							学校教育法第105条及び学校教育法施行規則第164条の規定に基づき、東京電機大学で実施する履修証明プログラム							
②①に係る資格・試験等の実施機関名称							東京電機大学							
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等							下の2.教育訓練の内容に記載の教科8科目中6科目（135時間）で単位認定合格すること。							
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況							官公庁や一般企業等の幅広い業界において、＜実践＞「企業の現場」と＜知＞「大学」の架け橋となる科目（実践知重点科目）を修得することにより、プロ技術者（実践知リーダー）となることを見込む。具体的には、技術者（エンジニア）として、企業の現場（特にものづくり）での企画から実行、問題解決等を図ることができる能力（実践知の能力）を得る。							
2. 教育訓練の内容														
教科（カリキュラム）							時間			使用教材名				
イノベーションヒストリー							22.5時間			（担当教員が資料等を用意する）				
創造設計・開発学							22.5時間			信頼性工学、（他、担当教員が資料等を用意する）				
モデリング実践学							22.5時間			（担当教員が資料等を用意する）				
シミュレーション実践学							22.5時間			（担当教員が資料等を用意する）				
安全・安心のための要素技術							22.5時間			（担当教員が資料等を用意する）				
安全社会基盤学							22.5時間			（担当教員が資料等を用意する）				
応用失敗学							22.5時間			（担当教員が資料等を用意する）				
技術者プレゼンテーション							22.5時間			「分かりやすい表現」の技術、（他、担当教員が資料等を用意する）				
3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）														
①受講するに当たって必要な実務経験等							なし							
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準							高等学校又は中等高等学校を卒業した者等大学入学資格のある者							
③その他							—							

一般教育訓練明示書 (東京電機大学 実践知プログラム)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度内の受講修了者数	1	人		
② ①のうち目標資格の受験者数		人	受験率(②/①)	%
③ ②のうち合格者数		人	合格率(③/②)	%
④ 上記②・③の回答者数		人		

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	1	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	1	人	②A: 就業者計	
	2 非正社員、派遣社員		人		
	3 その他の就業(自営業等)		人	②B: 非就業者計	
	4 非就業		人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ		人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる		人		
	3 社内外の評価が高まる	1	人		
	4 円滑な転職に役立つ		人		
	5 趣味・教養に役立つ		人		
	6 その他の効果		人		
	7 特に効果はない		人		1人
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる		人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる		人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる		人		
	4 趣味・教養に役立つ		人		
	5 その他の効果		人		
	6 特に効果はない		人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した		人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した		人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した		人		
	4 就職していない		人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	1	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足		人		
	3 どちらとも言えない		人		1人
	4 やや不満		人		
	5 大いに不満		人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

【「現在の職務に関して」を抜粋して掲載】

- ① 非常に役にたったと実感している。日頃より状況を俯瞰してみるクセはつけていたが、今まで以上に冷静、客観的に状況を把握でき、次に何をしなければいけないかが、頭の中で整理されるようになった。
- ② 会議の場で、「問い」の重要性和周囲を巻き込むための発言をするように意識できるようになった。
- ③ システム障害が起きたときに、原因や結果、今後の対策について、これまで以上に論点整理ができるようになった。

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	各科目(8科目)において、各々評価方法を設定しており、大別すると ① 中間考査、課題提出、レポート提出等によって評価する。 ② 各分野(電気電子、機械、情報、建築)単位の授業でのレポート提出によって評価する。 がある。(詳細はシラバスに記載)
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	-

6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

各科目で一定の成績をおさめ、最終的に上記実践知プログラム指定科目8科目中6科目(135時間)を修得することにより修了認定する。

一般教育訓練明示書 （東京電機大学 実践知プログラム）

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	講義前後やオフィスアワー等、随時質問を受け付け、希望に応じて個別指導を行う。
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	実践知プログラムを担当する教員は、企業出身者等が多いため、(1)と同様に相談に応ずるなどでバックアップする。
8. その他の事項	
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	東京電機大学 工学部第二部長 (代表者名: 佐藤 太一)
住所及び連絡先	東京都足立区千住旭町5番 TEL 03-5284-5333
施設名称及び施設長名	東京電機大学 学長 (施設長: 安田 浩)
住所及び連絡先	東京都足立区千住旭町5番 TEL 03-5284-5333
給付制度担当部署・者	東京電機大学 東京千住キャンパス事務部 (担当者: 鮎田 裕司)
連絡先	TEL 03-5284-5333
一般教育訓練経費 支払い方法	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 202,000 円
① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) 10,000 円
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) 192,000 円 (うち、必須教材費 円)
③ 両方可	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 23,888 円
	① 副読本代 (税込額) 3,888 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額) 円
	③ 施設維持費 (税込額) 20,000 円
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額) 円
	3. 総額 (1+2) (税込額) 225,888 円

〔特記事項〕